

5月度生涯研 抄録

最小限の生体侵襲による 効果的な欠損補綴法—接着ブリッジ—

矢谷 博文 (大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座(歯科補綴学第一教室))

歴史的に見ると、歯科補綴学、特に歯冠補綴学は歯質を大きく削除し、犠牲にするこの上に構築された学問であった。すなわち、補綴装置の力学的安定性が最重要視され、生体保全の考え方は二の次に追いやられていた。まさに Minimal Intervention (以下:MI) というパラダイムからは最も遠いところに位置する学問であった。また、臨床経験則を重視して発展してきたため、臨床エビデンスが決定的に不足している学問であった。 21世紀における医療はDOSからPOSへとパラダイムがシフトしていく時代であり、治療自体にしても生体侵襲を最小限にし、患者の負担を軽減するMIという考え方が台頭してきている。このMIという概念は少しづつクラウンブリッジの領域にも浸透しつつあり、その最大の担い手になったのが、接着歯学である。 ところで講演では、接着歯学の歯科臨床における重要性をクローズアップすることを目的として、新しい学問である接着歯学の歴史を振り返るとともに、これまで取り組んできた歯質ならびに金属の表面処理法、接着ブリッジのリテーナーデザイン、接着阻害因子などに関する基礎研究ならびに接着ブリッジ・スプリントに関する臨床的研究を紹介する予定である。 すなわち、まず金属の表面処理法として、スズ電析処理の臨床応用が可能となるまでの基礎的研究結果と、それを発展させた金属接着プライマーの効果をjつて述べる。 続いて、陶材表面処理としてシランカップリング剤の塗布とその加熱が接着強さの向上に効果的であることを述べる予定である。 さらに歯質、特に象牙質に対する接着に関する研究成果を紹介し、HEMAによるプライミング処理とリン酸処理に続いて表面のコラーゲン層を除去する目的で行う次亜鉛素酸処理に関する数々の研究成果を紹介したい。 最後に、デザインの変遷を重ねてきた接着ブリッジの長期予後成績について述べ、これらの臨床成績から接着歯学の将来を展望して講演のまとめたい。

人馬一体

石堂 招紀 (東大阪市)

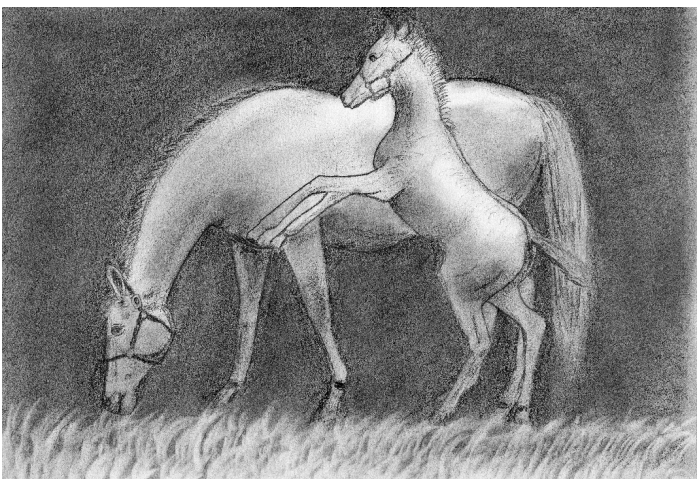
リリースエッセイ 232



私は幼い頃から体を動かすことが好きで、数々のスポーツを経験してきた。 学生の頃から始めていたサッカー・スノーボード・ウェイクボード、そして最近始めたゴルフと。その中でも、一番幼

い頃から真剣に取り組んでいたのは馬術である。母の影響で、5歳の頃から夏は早朝から、冬は午後から休日返上でトレーニングに励んでいた。馬をはじめとする動物には言葉は通じない。しかし、家庭で飼われてい

る犬や猫と同じように、お互いの信頼関係を築くことによって分かり合うことはある。馬も同じで競技会出場において、馬をパートナーとするスポーツであるだけに人馬一体となるための信頼関係を築くことは、やはり不可欠なのである。 人が馬に指を出すと手袋として想像できるのは、手綱と脚であらう。しかし、実際は手・腰・太もも・かかと・つま先と全身を使い自分の意志を馬に伝える。言葉の通じない馬であっても、真剣に取り組み上手くいけば声を出し思いっきり褒



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

め、違ったことをすれば叱る。まるで自分の子どもを教育しているかのよう。トレーニングが終わり、馬を外し手入れをする。この時も声を掛けながら今日の反省などを話し掛ける。 パートナーとしてトレーニングを始めた頃は、なかなかうまくいかず、ストレスがたまっていた。馬に跳ね落とされた馬場を疲れるまで全速力で走ったり、ある時は厩舎から出てこず引っぱり合いをしたり、今から思えば笑えるが、その頃は必死であった。 やがて競技会に出場するようにになり、日頃のトレーニングの成果を発揮しようとするのだが、お

互いが初めての経験で、私も馬もいつも以上に緊張しているのが分かるくらいになっていた。しかし、出場回数が増えるごとに成績は良くなり、近畿大会の大坂代表になるまでに成長。まさに人馬一体となったのである。 そのパートナーとは、レッキスオドルカ号。2年前に老衰のため天に昇るが、私は本当に彼から色々学んだ。オドルカ、ありがとう。

石堂招紀先生ありがとうございます。次回5月15日付は石堂先生のご推薦で、倉雄宏先生(西成区)にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。

第23回保団連医療研究集会 演題募集

奮って御応募下さい

お申し込み締め切りは5月末日まで

全国保険医団体連合会は、10月11日～12日の日程で第23回医療研究集会を仙台で開催します。下記内容で発表演題を募集しますのでご応募ください。

演題の申し込み 発表したい分科会(左記分科会)を指定して、協会事務局(06-6568-7731)までお申し込みください。

お申し込み締め切り 5月31日まで

応募条件 演題発表者は、会員または会員との共同研究者であること。スタッフ等による共同研究は会員が共同研究者であること。

応募演題の内容 ①日常診療の向上につながる内容であること。 ②日常診療を行う上で対応できないものや疑問を生じさせる内容でないこと。

③上記①、②の観点にそつて医科、歯科開業医の学問的にも、また一般常識からみても良識の範囲内におさまる内容であること。 ④内容が営業活動に通じると実行委員会で判断したものは除外。

企画内容 ▼分科会テーマ(5テーマ8会場) ・第1分科会「在宅医療・介護」 ・第2分科会「内科診療の研究と工夫」(2会場) ・第3分科会「歯科診療の研究と工夫」(2会場) ・第4分科会「公害・環境・職業病」 ・第5分科会「医学史・医療運動史・医療と裁判」 ・ポスターセッション ▼会場 仙台国際センター(宮城県仙台市)

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

電話 06-6568-7731 申し込みは ファクス 06-6568-0564

「診療報酬08改定 地区説明会」

講師 社保研究部・政策部講師団 会費 会員無料、会員院所の未入会歯科医1万円 資料 3月19日に発送した「改定の要点と解説」を(ご持参ください)

《4月19日(土)》

●西部・東部地区 午後5時～ 定員 1200人

●大阪駅前第3ビル17階

●南河内地区 午後6時30分～ 定員 50人

●すばるホール(近鉄長野線「川西」駅徒歩8分)

《4月26日(土)》

●泉州会場 午後7時～ 定員 50人

●浪切ホール(南海本線「岸和田」駅商店街を西へ800m)

《5月10日(土)》

●三島地区 午後7時～ 定員 1000人

●高槻市立総合市民交流センター(JR「高槻」駅徒歩1分、阪急京都線「高槻市」駅徒歩5分)

保団連近畿ブロック企画

「真実を聞いてくれ、俺は劣化ワゴンを見てしまった」

日時 5月10日(土) 午後4時～6時

会場 M&Dホール(保険会館東隣り)

講師 デニス・カイン氏(元米軍空挺部隊員)

参加費 無料 ※終了後、午後6時10分から懇親会を開催する(参加費5千円)

《デニス・カイン氏プロフィール》

米軍に15年間在籍し、湾岸戦争では第18空挺部隊員として、「砂漠の嵐」作戦の最前線に立つ。現在、障害退役軍人。劣化ワゴン弾問題を中心に研究をし、米軍の欺瞞を追求した書籍やDVDを多数発表している。

5月度生涯研(上記抄録)

「最小限の生体侵襲による効果的な欠損補綴法—接着ブリッジ—」

日時 5月18日(日) 午前10時～午後1時

会場 M&Dホール(保険会館東隣り)

定員 100人

講師 矢谷博文氏(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学教授)

会費 会員3千円、会員院所の未入会者1万円

女性医師・歯科医師の会

「古地図で歩く大阪ウォッチング」心なごむ平野郷を歩く

集合 6月21日(土) 午後3時 JR「平野」駅改札前 ※雨天決行

解散 午後5時30分頃 JR「加美」駅

会費 500円(古地図資料代金等)

案内人 西俣裕氏

内容 平野は古くから環濠に囲まれた自治都市であった。寺が立ち並び、昔ながらの家屋、町並みが残る。恒例の懇親会は、江戸時代の庄屋で庭園を眺めながらの食事。

懇親会費 実費 懇親会場 かんこ平野郷屋敷

※保険医協会は個人会員制の組織です。説明会へは未入会歯科医師は参加できません。ただし、開業医会員院所の未入会歯科医師のみ有料(1万円)で参加することができます。また、保険医協会がスタッフとは、保険医協会に入会する条件がない開業医会員院所に勤める歯科衛生士や受付従業員のことです。